

# 日本図書館情報学会会報

No. 198

2024年6月

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）  
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1  
相模女子大学 金井喜一郎研究室内  
（事務局業務に関する問合せ先）  
（株）ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会  
E-mail：[office@jslis.jp](mailto:office@jslis.jp) 学会ウェブページ：<http://www.jslis.jp/>  
ゆうちょ銀行 口座番号＝00160-5-0045759 口座名義＝日本図書館情報学会  
ゆうちょ銀行019店 口座番号＝当座0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

## 定例（通信）総会の実施にあたって

会長 岸田和明

2024年度の定例(通信)総会を実施いたします。議案は四つで、いずれも、本学会の運営における重要議案ばかりです。慎重なご審議をどうぞよろしくお願い申し上げます。そして、ぜひとも、ご投票をお願いいたします。

第一号議案は2023年度事業報告・事業監査報告で、第二号議案はそれに対応する決算報告・会計監査報告です。新型コロナウイルス感染拡大の影響で学会活動が制限された際に収入超過となり、年度間の繰越金が増えたことをご存じかと思えます。それに対して、コロナ禍対策や『図書館学会年報』の遡及的電子化などの事業に取り組んだ結果、2021年度から2022年度への繰越金が約955万円だったところ、2022年度から2023年度へは約900万円と減少しました。ところが、2023年度から2024年度への繰越金は1,000万円を超えるという結果になっています（第二号議案）。これについては、議案としては理事会を通していただいたものの、監事の方々から「問題である。」とのご指摘を受けております。

予算計画よりも十分に支出できなかった項目は「春季研究集会開催費」「研究助成費」「『図書館学会年報』の遡及的電子化」であり、それに対して、予算超過は「学会誌発行費」（約103%）に留まりました。その結果、支出予定額が820万円弱だったところ、実際には、約650万円しか使えなかったということになります。

では、2024年度に大幅に支出を増やすかということ、そうではなく、約700万円の支出総額といたしました（第四号議案）。いわば「余った」お金とはいえ、貴重な学会費がその主たる財源であり、無駄に使うわけにはいきません。『図書館学会年報』の遡及的電子化が完成し、コロナ禍対策事業も終わったという点での「日常」を2024年度は取り戻します。そのような状況に対する事業計画（第三号議案）での支出規模が約700万円になったとお考えください。

とはいえ、かつては予算がひっ迫し、やむなく学会費の値上げに踏み切ったわけですが、コロナ禍を経て、ウェブ会議が普及・浸透し、その当時とは明らかに支出構造が異なっている点は見逃ごせません。

そのため、2024年度の事業計画（第三号議案）では、「1.運営事業」の中に、「(11) 学会収支構造の検討」を含めました。具体的には、会長・副会長・事務局長を中心とするワーキングチームを発足させ、収入と支出のバランスについて検討を進める予定です。

お金の話ばかりになってしまいましたが、事業計画（第三号議案）では、これまでのルーティンワークを着実に進めるとともに、「3.刊行事業」に、「(3)新シリーズの出版準備」を加えています。まだ検討中ですので、事業計画中には詳細を記載していませんが、いわゆる「キャリア初期研究者」の出版活動を促進する目的をもった、新たな試みです。学会活動の活性化につながる重要な新規事業であると考えている次第です。

以上、定例(通信)総会を実施するにあたり、会長として議案の骨子と背景を記しました。会員のみなさまには、それぞれの議案をご精査いただきますよう、お願い申し上げます。また、本学会の運営に対して、忌憚のないご意見ならびにご助言をたまわれれば幸いに存じます。

## 定例（通信）総会投票用 ID と PW のはがき送付について

総務委員長 大場博幸

定例（通信）総会の投票率向上のため、投票用 ID とパスワード（PW）を正会員全員にはがき郵送にて通知いたします。発送は6月3日から始まる週に実施します。なお投票用 ID と PW は通常の会員 ID と PW と同一です。すでにご存じの方は昨年と同様にご投票ください。投票サイトについては同封の「定例（通信）総会マニュアル」をご参照ください。

## 2024年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 岸田 和明

2024年度定例（通信）総会として、以下の議案の可否につきまして、電子投票にて投票をお願いいたします。

詳細については、同封の案内をご覧ください。なお、総会は正会員によって構成されるため、学生会員、団体会員、賛助会員の皆様には、案内は同封してありません。

郵送による投票も受け付けます。ご希望の方は6月10日までに総務委員会アドレス [somu@jslis.jp](mailto:somu@jslis.jp) にご連絡ください。郵送投票申込者は Web での投票をお控えください。

投票期日：2024年6月30日(日)（郵送は当日消印有効、電子投票は23:59まで有効）

議 題： 第一号議案 2023年度事業報告・事業監査報告

第二号議案 2023年度決算報告・会計監査報告

第三号議案 2024年度事業計画案

第四号議案 2024年度予算案

## 1. 運営事業

### (1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を 2023 年 6 月 30 日として定例(通信)総会を実施し、有権者数 603 に対し、投票総数 157、有効投票数 157 であった。投票の結果、全議案は成立した。投票は電子投票によった。

### (2) 理事会・常任理事会の開催

会務執行のため、下記のように開催した。

#### 1) 理事会

第 1 回 2023 年 5 月 20 日（土）	明治大学（東京都千代田区）
第 2 回 2023 年 9 月 23 日（土）	オンライン開催

#### 2) 常任理事会

第 1 回 2023 年 4 月 23 日（日）	オンライン開催
第 2 回 2023 年 7 月 9 日（日）	オンライン開催
第 3 回 2023 年 9 月 16 日（土）	オンライン開催
第 4 回 2023 年 11 月 25 日（土）	オンライン開催
第 5 回 2024 年 1 月 21 日（日）	オンライン開催

### (3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2023 年 10 月 8 日（日）に愛知淑徳大学星が丘キャンパス（愛知県名古屋市中区）を会場として会員集会を開催した。

### (4) 規程・内規等の改正・整備

「日本図書館情報学会規約」第 9 条（役員を選出・任期）の改正案が第 2 回理事会にて承認された（同改正案は 2024 年度の総会に諮る予定）。また、「表彰内規」および「著作権内規」を改正した。

### (5) 委員会の開催

下記の委員会日程の他、各委員会ともにメールによる審議・協議を随時行った。

#### 1) 学会賞選考委員会

第 1 回 2023 年 7 月 14 日（金）	オンライン開催
第 2 回 2023 年 7 月 21 日（金）	オンライン開催
第 3 回 2023 年 8 月 28 日（月）	オンライン開催

#### 2) 編集委員会

第 1 回 2023 年 4 月 22 日（土）	オンライン開催
第 2 回 2024 年 2 月 19 日（月）	オンライン開催

#### 3) 研究委員会

第 1 回 2023 年 5 月 14 日（日）	オンライン開催
第 2 回 2023 年 12 月 10 日（日）	オンライン開催

#### 4) 総務委員会

開催なし。

#### 5) 図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ

第 1 回 2024 年 1 月 20 日（土）	オンライン開催
--------------------------	---------

#### 6) 出版事業に関する検討ワーキンググループ

第1回 2023年7月28日(金)	オンライン開催
第2回 2023年8月18日(金)	オンライン開催
第3回 2023年11月7日(金)	オンライン開催
第4回 2023年12月1日(金)	オンライン開催
第5回 2023年12月19日(火)	オンライン開催

(6) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.193(2023年4月), No.194(同年6月), No.195(同年10月), No.196(2024年2月)を発行した(PDF版メール配信および希望する会員への郵送, ならびに SOLTI への搭載)。

(7) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

事業内容について意見交換を行い, 今年度のシンポジウム開催は見送った。

(8) 学会広報の推進

学会サイトの管理・更新(会報・メールマガジンの掲載を含む), メールマガジンの発行などを進めた。

(9) 事務局業務の一部委託

会員管理, 会費管理, 発送業務等, 事務局業務の一部, また J-STAGE への登録・修正(削除)業務を株式会社ガリレオに委託した。これに加えて, 事務局文書等の一部保管を株式会社カルチャー ジャパンに委託した。

(10) 事務局業務委託内容の見直し

事務局業務の効率化および事務局長の負担軽減という目的に添って委託業務を見直し, 目的に沿うよう書類作成の方法を改善した。

(11) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本年度は対象者がいなかった。

(12) 学生会員への支援

学生会員への支援として, 全学生会員(61名)に対して会費(全額)を補助した。

(13) 学会創立75周年に向けての準備

2028年の学会創立75周年に向けて, 100万円を内部で留保した。

## 2. 研究促進事業

(1) 第71回研究大会の開催

第71回日本図書館情報学会研究大会を2023年10月7日(土), 8日(日)に愛知淑徳大学星が丘キャンパス(愛知県名古屋市)にて開催した。研究発表は14件, ポスター発表6件で, 参加者157名であった。

(2) 研究大会におけるシンポジウム開催

第71回研究大会2日目午後, 「生成AI時代における図書館員の役割」のテーマで一般公開によるシンポジウムを開催した。参加者は111名であった。

(3) 2023年度春季研究集会の開催

2023年度春季研究集会を2023年6月10日(土)に帝京平成大学中野キャンパス(東京都中野区)にて開催した。研究発表は15件で参加者は99名であった。

(4) 研究助成の募集・交付

・研究助成の募集を行い, 審議の結果, 以下の1件に対して研究助成を行った。

橋詰秋子（研究代表者，実践女子大学短期大学部），研究分担者：木村麻衣子（日本女子大学），宮田洋輔（慶應義塾大学），金井喜一郎（相模女子大学）「効果的な目録教授法の開発のための基礎的研究」

- ・2021年度に研究助成を交付した者については，研究助成の要件を満たしているかどうかを調査し必要に応じて対応した。

(5) 研究発表，研究交流促進のための助成

研究発表促進のための交通費一部補助を募集したが，応募者は0名であった。

(6) オンライン・チュートリアルセミナーの実施

2023年10月1日（日）にオンライン・チュートリアルセミナー「Transformerの技術についての入門的解説：GPTやBERTをよりよく理解するために」を開催した。参加登録者は33名であった。

(7) 過去の研究大会および研究集会の発表論文集の電子化

2015年度～2019年度の研究大会および研究集会発表論文集をPDF化し，ウェブにて公開した。

### 3. 刊行事業

(1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第69巻第2号（2023年6月），同第3号（同年9月），同第4号（同年12月），第70巻第1号（2024年3月）を発行した。

(2) J-STAGEによる『日本図書館情報学会誌』の提供

『日本図書館情報学会誌』について，J-STAGEを通じて提供した。『日本図書館情報学会誌』（1999年～2021年）および『図書館学会年報』（1970年～1998年）のオープンアクセスでの提供を行った。

(3) 『図書館情報学事典』の編集

2023年4月から6月にかけて，校正，全体の用語調整，索引作成，引用文献一覧の作成等を進めた。7月30日，『図書館情報学事典』初版1,200部が刊行された。10部門，287項目，726ページに上り，執筆者は178名を数えた。

(4) 『図書館学会年報』の遡及的電子化

『図書館学会年報』（1954年～1969年）の電子化およびオープンアクセスでの提供を行った。

(5) 出版事業の在り方の検討

出版事業のあり方と企画内容について協議した。

### 4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

表彰内規に基づき，日本図書館情報学会賞，論文賞，奨励賞の選考を行い，以下の者とその著作等に対して授与した。

- 1) 学会賞 雪嶋宏一『書誌学の誕生：コンラート・ゲスナー『万有書誌』の研究』日外アソシエーツ，2022，449p.
- 2) 論文賞 徳安由希，小泉公乃「公共図書館における行政支援サービスの構築と発展：田原市図書館の事例分析」『日本図書館情報学会誌』vol.68，no.2，2022.6，p.95-111.
- 3) 奨励賞 該当者なし

(2) 優秀発表奨励賞の選考・授与

2023 年度春季研究集会，第 71 回研究大会において自己申告による若手研究者の口頭発表を対象に，研究内容・発表技法という観点から優秀発表奨励賞の選考を実施した。審査の結果，以下の通りとした。

- ・2023 年度春季研究集会  
該当者なし。
- ・第 71 回研究大会  
内田貴之（京セラコミュニケーションシステム）「VR 学校図書館内の 3D 書架を用いた教材探索の検証」

## 5. 連携・協力事業

### (1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう，関係機関・諸団体との連携・協力を進め，後援依頼への対応を行った。

### (2) 関連の会議情報等の周知

図書館情報学関連の会議情報等を学会のメールマガジンに掲載した。

## 6. その他

### (1) 『日本図書館情報学会誌』のエンバーゴ廃止検討

学会誌エンバーゴ検討ワーキンググループを組織し，『日本図書館情報学会誌』のエンバーゴ廃止について検討した。

## 2023 年度 事業監査報告

事業監査の結果、学会活動が適正に運営され、活動計画が適切に行われていたことを報告いたします。

2024 年 4 月 28 日 監事 逸村 裕

2024 年 4 月 28 日 監事 山本順一

## 第二号議案 2023 年度決算報告・会計監査報告

### 2023 年度 決算報告

(収入の部)

クレジット件数、会費、全て 2024/3/31 現在

項目	予算(円)	実績 (円)	達成率	前年度決算	備考
1 会費					
正会員	5,016,000	4,776,000	95.2%	4,884,000	8,000 円×郵便振替 412 件+8,000 円×クレジット決済 183 件+8,000 円×銀行振込 1 件+5,000 円×郵便振替 1 件+3,000 円×郵便振替 1 件
学生会員	128,000	126,000	98.4%	140,000	2,000 円×会費補助 61 件+2,000×郵便振替 2 件 (過去の未納分)
団体会員	660,000	630,000	95.5%	615,000	15,000 円×郵便振替 14 件+15,000 円×銀行振込 28 件

	賛助会員	100,000	100,000	100.0%	100,000	50,000 円×銀行振込 1 件+50,000 円×郵便振替 1 件
	入会金	-	23,000	-	25,000	1,000 円×銀行振込 2 件+1,000 円×郵便振替 11 件+1,000 円×クレジット決済 10 件
2	広告料	160,000	160,000	100.0%	135,000	30,000 円×2 件, 25,000 円×4 件 69(1)~69 (4) 4 巻セット (756,000 円), 69 (1) 単体分 (151,200 円), 69 (2) 単体分 (149,100 円), 68(2)単体分 (2,100 円), 68(3)単体分 (2,100 円), 68(4)単体分 (4,200 円) ※12 月 6 日注文分ほか入金漏れ (304,500 円) あり
3	学会誌売上金	1,402,800	1,064,700	75.9%	1,402,800	図書館情報学用語辞典第 5 版印税 (171,411 円) 『図書館情報学事典』印税 (445,340 円) わかるシリーズ印税 (7,112 円) 『図書館情報学事典』電子版印税 (160,127 円)
4	印税	677,531	783,990	115.7%	209,412	非会員参加費 3,000 円×8 名
5	春季研究集会収入	39,000	24,000	61.5%	39,000	利息 (77 円), 授業目的公衆送信補償金 (2021 年度分) (98,231 円)
6	雑収入	58	98,308	169496.6%	1,898	
7	前年度繰越金	9,006,865	9,006,865	-	9,559,735	
	合計	17,190,254	16,792,863	97.7%	17,111,845	

繰越金除く収入合計

7,785,998

7,552,110

(支出の部)

2024/3/31 現在

項目	予算(円)	実績 (円)	達成率	前年度決算	備考
1 運営事業費					
理事会・常任理事会	233,180	219,180	94.0%	218,780	日当 (152,000 円), 交通費 (67,180 円)
開催費					
会計監査実施費	66,140	66,140	100.0%	35,040	日当(6,000 円), 交通費(60,140 円)
研究委員会	41,500	32,000	77.1%	36,000	日当 (32,000 円)
編集委員会	100,000	80,274	80.3%	47,294	日当 (34,000 円), 非会員査読謝礼 (7,000 円), 書評用図書 2 冊 (36,300 円), 通信費 (2,974 円)

学会賞選考委員会	20,000	20,000	100.0%	20,000	日当(20,000円)
総務委員会	22,000	9,220	41.9%	17,220	サーバーレンタル代金(5,238円), ウェブページドメイン費用(3,982円)
図書館情報教育に資する事業ワーキンググループ	60,000	0	0.0%	0	未払日当(8,000円)があり, 2024年度に支払予定
出版事業に関する検討ワーキンググループ	30,000	20,000	66.7%	-	日当(20,000円)
『図書館情報学事典』編集委員会	34,000	0	0.0%	32,000	支出なし
会報発行費	10,000	758	7.6%	1,908	会報印刷費(No.193,194:240円+No.195:60円+No.196:60円), 通信費(No.193,194:210円+No.195:94円+No.196:94円)
事務局運営費	1,701,130	1,632,956	96.0%	1,703,523	事務局運營業務委託費(1,005,779円), 通信総会管理委託費(66,000円), 会費クレジット決済手数料(57,610円), 文書印刷・封筒作成・発送業務委託費(110,259円), J-STAGE登録業務委託費(19,800円), 個人情報保全管理委託費(210,336円), 事務局資料保管委託費(25,344円), 振込手数料(27,190円), slackを除く通信費(28,904円), slack年間利用料(72,402円), 雑費(2,200円), 消耗品費(7,132円)
学生会員会費補助	128,000	122,000	95.3%	-	会費補助2,000円×61名
2 研究促進事業費 研究大会開催費	300,000	300,000	100.0%	540,250	案内発送費100,000円, 事務局支援供出金200,000円

	研究大会シンポジウム 開催費	25,000	17,380	69.5%	110,370	非会員パネリスト謝礼 10,000 円×1 名, 非会員パネリスト交通費 7,380 円
	春季研究集会開催費	300,000	176,058	58.7%	184,520	発表論文集 66,858 円, 学生アルバイト 95,040 円, 消耗品 (名札, タックラベル, 電池) 10,330 円, 通信費 3,390 円, 振込手数料 440 円
	研究助成費	750,000	300,000	40.0%	600,000	研究助成 300,000 円×1 件
	過去の研究大会等 発表論文集の電子化費	250,000	51,260	20.5%	-	2015 年度～2019 年度春季研究集会および研究大会発表論文集電子化費
3	刊行事業費					
	学会誌発行費	2,202,900	2,276,791	103.4%	2,251,743	学会誌印刷費 (69 巻 2 号 (66 頁) 452,268 円+69 巻 3 号 (48 頁) 328,922 円+69 巻 4 号 (66 頁) 452,268 円+70 巻 1 号 (74 頁) 507,089 円), J-STAGE 搭載業務委託費 (19,800 円+16,500 円+26,400 円+23,100 円), 発送業務委託費 (52,074 円+40,246 円+40,755 円+40,646 円), 通信費 (56,833 円+55,715 円+56,855 円+57,402 円), 封筒作成費 (49,918 円)
	『図書館学会年報』 の遡及的電子化費	1,500,000	856,452	57.1%	1,593,044	図書館学会年報 1～15 巻電子化費および J-STAGE アップロード費
4	表彰事業費					
	学会賞等副賞 ・賞状作成費	406,000	302,445	74.5%	302,190	副賞: 学会賞 200,000 円×1 件, 論文賞 100,000 円×1 件, 学会賞等の賞状ホルダー費用 2,445 円
5	予備費	9,010,404	25,052	0.3%	97,271	学会誌のエンバーゴ期間廃止検討 WG (仮称) 日当 (10,000 円), 研究大会における研究発表申請システム (EasyChair) 利用料 (15,052 円)

翌年度への繰越金	-	10,284,897	-	9,006,865	学会創立 75 周年基金としての留保 (1,000,000 円) その他 (9,284,897 円)
合計	17,190,254	16,792,863		16,798,018	
予備費・繰越金を除く支出合計	8,179,850	6,507,966		7,791,153	

## 2023 年度 会計監査報告

会計監査の結果、予算に基づき会計が適正に執行され、帳簿記入が正確に行われ、決算報告書が適正に作成されていたことを報告します。

2024 年 4 月 28 日 監事 逸村 裕

2024 年 4 月 28 日 監事 山本順一

## 第三号議案 2024 年度事業計画案

### 2024 年度事業計画案

#### 1. 運営事業

##### (1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を 2024 年 6 月 30 日として定例（通信）総会を実施する。投票は電子（事前申請すれば郵送も可）による。

##### (2) 理事会・常任理事会の開催

下記の予定で、理事会・常任理事会を開催する。

###### 1) 理事会

第 1 回 2024 年 5 月 18 日（土） 明治大学（東京都千代田区）  
第 2 回 2024 年 9 月 14 日（土） オンライン開催

###### 2) 常任理事会

第 1 回 2024 年 4 月 20 日（土） 慶應義塾大学（東京都港区）  
第 2 回 2024 年 7 月 13 日（土） オンライン開催  
第 3 回 2024 年 9 月 6 日（金） オンライン開催  
第 4 回 2024 年 11 月 16 日（土） オンライン開催  
第 5 回 2025 年 1 月 26 日（日） オンライン開催

##### (3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2024 年 9 月 29 日（日）に筑波大学筑波キャンパス（茨城県つくば市）を会場として会員集会を開催する。

##### (4) 規程・内規等の改正・整備

著作権内規のほか、規程・内規等に関する整備を進める。

##### (5) 委員会の開催

下記の予定で、委員会・ワーキンググループを開催する。適宜メールによる審議・協議を行う。

- 1) 学会賞選考委員会 3 回（オンライン開催）
- 2) 編集委員会 1 回（オンライン開催）
- 3) 研究委員会 2 回（オンライン開催）
- 4) 総務委員会 0 回（メールによる審議・協議のみ）

- 5) 図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ 3回 (オンライン開催)
- 6) 出版事業に関する検討ワーキンググループ 3回 (オンライン開催)
- (6) 会報の発行  
『日本図書館情報学会会報』No.197 (2024年5月), No.198 (同年6月), No.199 (同年10月), No.200 (2025年2月)を発行する (PDF版メール配信および希望する会員への郵送, ならびに SOLTI への掲載)。
- (7) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行  
シンポジウムを1回開催するとともに, 報告書の作成を検討する。
- (8) 学会広報の推進  
学会サイトの管理・更新 (会報・メールマガジンの掲載を含む), メールマガジンの発行などを進める。
- (9) 事務局業務の一部委託  
会員管理, 会費管理, 発送業務等, 事務局業務の一部, また J-STAGE への登録・修正 (削除) 業務を 2023 年度に引き続き, 株式会社ガリレオに委託する。これに加えて, 事務局文書等の一部保管を 2023 年度に引き続き, 株式会社カルチャージャパンに委託する
- (10) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈  
本学会の運営, 事業, 会員サービスの向上等に関して, その功績が顕著であると認められる個人会員に, 感謝状を贈呈する。
- (11) 学会収支構造の検討  
いわゆる「コロナ禍」以降の学会の支出構造について精査し, 予算とのバランスを確認する。
- (12) 能登半島地震被災会員への支援  
2024年1月1日に起きた能登半島地震において被災された正会員および学生会員に対し, 2024年度の会費を補助する。

## 2. 研究促進事業

- (1) 第72回研究大会の開催  
第72回日本図書館情報学会研究大会を2024年9月28日(土), 29日(日)に筑波大学筑波キャンパス(茨城県つくば市)にて開催する。
- (2) 研究大会におけるシンポジウム開催  
第72回研究大会2日目午後「図書館情報学における初期キャリア研究者: 課題と支援を考える」(仮題)をテーマに, 一般公開にてシンポジウムを開催する。
- (3) 2024年度春季研究集会の開催  
2024年度春季研究集会を2024年6月15日(土)に京都橘大学(京都府京都市)にて開催する。
- (4) 研究助成の募集・交付  
図書館情報学振興のために, 個人会員が個人もしくはグループとして計画した研究に対し, 研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。
- (5) 研究発表, 研究発表促進のための助成  
研究発表促進のために, 春季研究集会または研究大会において第一発表者として研究発表(口頭, ポスター)を行う学生会員に対して交通費の一部補助を行う。
- (6) オンライン・チュートリアルセミナーの実施  
2023年度に引き続き, 本年度も実施する。
- (7) 過去の研究大会および研究集会の発表論文集のPDF化

過去（2010年度～2014年度）の研究大会および研究集会の発表論文集を段階的にPDF化し、ウェブにて公開する。

### 3. 刊行事業

(1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第70巻第2号（2024年6月）、同第3号（同年9月）、同第4号（同年12月）、第71巻第1号（2025年3月）を発行する（事務局で印刷版郵送、編集委員会で視覚障害会員向けPDF版をメール配信）。

(2) J-STAGEによる『日本図書館情報学会誌』の提供

『日本図書館情報学会誌』について、J-STAGEを通じて提供する。

(3) 新シリーズの出版準備

執筆支援のしくみを取り入れた新シリーズの出版準備を進める。具体的な編集作業の進め方について検討しながら、編集準備委員会の立ち上げ、執筆者募集などの出版準備作業を開始する。

### 4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

- ・正会員の優れた著作で2022年度もしくは2023年度に発表された単独著作を対象として学会賞を選考・授与する。
- ・『日本図書館情報学会誌』第69巻第2号から第70巻第1号までに掲載された論文を対象として論文賞を選考・授与する。
- ・個人会員（若手研究者）の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第69巻第2号から第70巻第1号までに掲載されたものを中心に奨励賞を選考・授与する。

(2) 優秀発表奨励賞の選考・授与

2024年度春季研究集会ならびに第72回研究大会において、優れた口頭発表を行った自己申告による個人会員（若手研究者）に優秀発表奨励賞を授与する。

### 5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進める。

(2) 関連の会議情報等の周知

図書館情報学関連の会議情報等を、学会のメールマガジンに掲載する。

#### 第四号議案 2024年度予算案

#### 2024年度 予算案

#### (収入の部)

項目	予算(円)	備考
1 会費		
正会員	5,008,000	現会員 596人×8,000円+1年未納分 24件×8,000円+2年未納分 3件×16,000円
学生会員	114,000	現会員 57人×2,000円
団体会員	660,000	現会員 43機関×15,000円+1年未納分 1件×15,000円

	賛助会員	100,000	現会員 1 機関・1 個人×50,000 円	
2	広告料	160,000	30,000 円×2 件, 25,000 円×4 件	160,000
3	学会誌売上金	1,690,500	定期購読 12,000 円×0.7×90 セット	756,000
			個別購読 3,000 円×0.7×300 部	630,000
			前年度販売未入金分	304,500
4	印税	435,400	わかる! 図書館情報学シリーズ第 1 巻 1,800 円×10 部×0.1	1,800
			わかる! 図書館情報学シリーズ第 2 巻 1,800 円×0 部×0.1	0
			わかる! 図書館情報学シリーズ第 3 巻 1,800 円×5 部×0.1	900
			わかる! 図書館情報学シリーズ第 4 巻 1,800 円×0 部×0.1	0
			わかる! 図書館情報学シリーズ第 5 巻 1,800 円×15 部×0.1	2,700
			『図書館情報学用語辞典第 5 版』	100,000
			『図書館情報学事典』	250,000
			『図書館情報学事典』電子版	80,000
5	春季研究集会 収入	24,000	非会員参加費 3,000 円×8 名	24,000
6	雑収入	50,077	利息	77
			授業目的公衆送信補償金	50,000
7	前年度繰越金	10,284,897	学会創立 75 周年基金としての留保	1,000,000
			その他	9,284,897
合計		18,526,874		

8,241,977 前年度繰越金を除いた金額

(支出の部)

項目	予算(円)	備考	
1 運営事業費			
理事会・常任理事会 開催費	334,920	交通費: 理事会 127,080 円(13 人分)×1 回	127,080
		交通費: 常任理事会 27,840 円 (4 人分) ×1 回	27,840
		会議費	0
		宿泊費	0
		日当: 理事会 2,000 円×25 人×2 回	100,000
		日当: 常任理事会 2,000 円×8 人×5 回	80,000
会計監査実施費	65,920	交通費: 59,920 円 (2 人分) ×1 回	59,920
		日当: 2,000 円×3 人×1 回	6,000
委員会開催費 研究委員会	41,500	交通費:	0
		日当: 2,000 円×10 人×2 回	40,000
		通信費	1,500

編集委員会	80,000	交通費：	0
		日当： 2,000 円×10 人×1 回	20,000
		通信費	2,000
		消耗品費	30,000
		非会員査読謝礼： 7,000 円×4 人	28,000
学会賞選考委員会	24,000	交通費：	0
		日当： 8,000 円（4 人分）×3 回	24,000
		消耗品費	0
総務委員会	132,000	交通費：	0
		日当：	0
		サーバレンタル・ドメイン維持費	10,000
		総会：通信費（葉書代）	38,000
		総会：印刷費	27,000
		総会：消耗品費（個人情報保護シール）	15,000
		総会：発送作業費	42,000
図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ	92,000	日当： 2,000 円×4 人×3 回	24,000
		未払日当（2023 年度）： 2,000 円×4 人×1 回	8,000
		シンポジウム開催費： 会場費 30,000 円，講師交通費 30,000 円	60,000
出版事業に関する検討ワーキンググループ	12,000	日当： 2,000 円×2 人×3 回	12,000
会報発行費	10,000	印刷費	4,000
		通信費	4,000
		消耗品費（封筒、ラベル代金）	2,000
事務局運営費	1,720,059	消耗品費	10,000
		通信費	30,000
		事務局アルバイト交通費	5,000
		事務局会計補助アルバイト代	20,000
		業務委託費： 株式会社ガリレオ（12 ヶ月分）	1,008,000
		業務委託費： 株式会社ガリレオ通信総会システム使用料	66,000
		業務委託費： 封筒・文書印刷料	110,000
		業務委託費： 発送手数料	2,000
		業務委託費： 会費徴収手数料	58,000
		業務委託費： J-STAGE への会員登録・修正（削除）業務費	19,800

		業務委託費： 会員の個人情報保全管理費	215,000
		業務委託費： 事務局資料保管料	33,259
		振込手数料	30,000
		感謝状作成費	2,000
		会場校会長挨拶交通費等（春季研究集会，研究大会）	0
		会場校会長挨拶手土産（春季研究集会，研究大会）	0
		会場校会長挨拶日当（春季研究集会，研究大会）	0
		常任理事会における連絡・打ち合わせのための slack 年間利用料	111,000
能登半島地震被災 会員への支援	24,000	会費補助： 正会員 8,000 円×3 名	24,000
2 研究促進事業費			
研究大会開催費	885,100	案内発送費	0
		事務局支援供出金	200,000
		研究発表申請システム（EasyChair）利用料	15,100
		会場借料	590,000
		参加費収受システム利用料	80,000
研究大会シンポジウム 開催費	25,000	日当（事前打ち合わせ分）： 2,000 円×6 名×2 回 （委員 2 名，コーディネータ 1 名，登壇者 3 名）	24,000
		通信費	1,000
春季研究集会開催費	315,100	消耗品費	30,000
		印刷費（発表論文集印刷）	140,000
		通信費	5,000
		会議費	5,000
		アルバイト料	120,000
		研究発表申請システム（EasyChair）利用料	15,100
研究助成費	750,000	研究助成金： 300,000 円×2 件	600,000
		学生会員研究発表助成金： 15,000×10 件	150,000
過去の研究大会等発表論 文集の電子化費	55,000	発表論文集（年間 2 冊）電子化費： 2010 年度～ 2014 年度（5 年分）	55,000
—	—		
3 刊行事業費			

学会誌発行費	2,024,000	印刷費： 第 70 巻第 2 号～第 71 巻第 1 号 (360,000 円×4 号) 発送手数料： 50,000 円×4 回 郵送費： 60,000 円×4 回 封筒作成費： 角 3 封筒 2,700 部, PP 封筒 (B5)1,000 部 J-STAGE 搭載費： 3,300 円×30 本	1,440,000 200,000 240,000 45,000 99,000
4 表彰事業費			
学会賞等賞金	406,000	賞金 (学会賞：200,000 円, 論文賞・奨励賞：各 100,000 円)	400,000
賞状作成費		賞状制作費： 3 枚	6,000
5 予備費	11,530,275	学会創立 75 周年基金としての留保 その他	1,000,000 10,530,275
合計	18,526,874		

6,996,599 予備費を除いた金額

1,245,378 繰越金・予備費を除いた収支差

## 事業および会計に関する意見

2024 年 5 月 4 日

意 見 書

逸村裕

2024/4/28 (日)、金井喜一郎日本図書館情報学会事務局長が在する相模女子大学において、日本図書館情報学会 2023 年度会計監査・事業監査を山本順一先生と共に行いました。

金井事務局長作成の資料を事前に受け取り、当日丁寧な説明をうかがいました。今期は事務局員を欠くというなかでの作業とのことでした。

気付いた点を以下に意見を記します。

### 1. 繰越金の多さ

理事会で議論が出たとのことですが、繰越金の多さが目につきます。COVID-19 蔓延により活動が大きく制限されたこともあり、いくつか手を打たれたとのことですがいっその対応は必要でしょう。学会創立 75 周年事業に充てる、との意見を聞きました。それは妥当でしょう。とすると「特別会計」とし、外から見える形にするのは一策ではないかと考えます。

### 2. 事務局業務への支援

外部への委託を行っていることは評価します。しかし現在の金井事務局長の業務量を見るとなんらかの対応が必要でしょう。業者側の手落ちとはいえ、未収金の確認等事務の煩雑膨大さは現在のやり方で

は限界にきているように見えます。今後の引継ぎにも影響が及ぶのではないのでしょうか。

3.その他、山本先生ご指摘の内容についても議論し、賛同しました。繰り返しは避けませんが、良い方向に受け止められることを期待します。

理事会、常任理事会でもすでに議論されたこととも思いますが、今後の学会の維持発展につながることを期待します。

以 上

2024年5月2日

### 意 見 書

やまもと・じゅんいち

2024年4月28日（日）、相模女子大学において、午後1時からまるまる3時間、午後4時まで、金井事務局長の大部な資料にもとづく説明をうかがいながら、逸村先生とともに、本学会の会計監査・事務監査を行いました。定型的作業はガリレオなど学会事務を受託する専門企業に委託はしているものの、会計処理を含む事務局作業に関し、今年度は一定の範囲の関係業務につき、信頼しまかせられる事務局員がおらず、金井事務局長がひとりで獅子奮迅、四苦八苦しなが行われていることは、印刷用紙の種類が異なっていたり、コピーの若干の乱れが散見される場所からも感じられました。逸村先生は金井事務局長から手渡された電卓を片手に数字をチェックし、伝票・帳票等と照合されたりされておりました。わたしは数字の美しさを眺めながら、いくらか思考をめぐらしていました。逸村先生からも、別途、意見書が提出されることになっていますが、以下、いくつかわたしなりに気がついた点を、箇条書きにして記し、監事としての責めをふさぐことにしたい。なお、ここで指摘する事項の多くについては、すでに理事会、常任理事会でも意識され、とりあげられ、改善方策が実施されようとしているものも少なくない。

#### 1. 定例（通信総会）投票について

正直にここで吐露しておく、わたしはこの学会に限らず、会員に名を連ねたことのある学会の多くで、投票・選挙というものには参加したことがない。だから、偉そうなことを言う資格ははなからないことは承知している。しかし本学会の2023年度定例（通信総会）投票は会員有権投票者の26.0%の投票にとどまった。前年度の2022年度の38.2%をかなり下回り、投票結果にあらわれる本学会会員総体の意思形成という意味では希薄なものとなった。このような投票活動は、もともとなかば形式的なものとなりがちであるが、投票率が低いのは、民主的な学会運営にとって面白いことではない。なぜここまで投票率が低いのか。有権者会員に対して、ID、パスワードの入力を求めるという付随的な手続きの煩瑣なことが投票のハードルとなっているという多くの理事の声は正しいものだと思うし、常任理事会では次回から全会員にID・パスワードを伝えるハガキを郵送し、ID・パスワードを別途調べるという手間を省き、投票率の向上に役立てようという案が出ている、とのことである。また、従前から、ネットをのぞくことなく紙の文書で通信総会に呈示されている議案を確認し、郵送により投票したいとする会員には、その旨の申し出を受けて郵送投票を可能としており、そのオプションは維持することになって

いる。この常任理事会が示している改革案は合理的だと思われる。コストを上回る意味があると、わたしは思う。ぜひ、その方向で進めてほしい。さらに踏み込めば、できる限りシステム上で簡便に処理したいという趣旨は損なわれるが、会員から各審議案につき賛成・反対の意向を明らかにしたメールを個別に受け取ったものも有効としてよいものと思う。なりすましや二重投票の懸念は、性善説によって運営される学会においては排除してよいように思われる。

## 2. 学会賞等の表彰の対象を単著に限定するのはやめよう

現行学会賞選考委員会内規によれば、学会賞授与の対象は、図書館情報学分野の単著、単独著作に限定されている。若手研究者を対象とする奨励賞も単独著作に授与となっている。しかし、もう一匹狼の天才・超秀才研究者が素晴らしい研究成果を孤独な研究生活から生み出すという時代は終わったように、わたしは思う。医学や生物学、物理や化学、コンピュータサイエンスなどに限らず、最近では、文科系の学問領域でもまともな研究のなかには、特定の大学の1研究室の指導教員と大学院生、学部学生という親分・子分たちでの研究という枠を超えた共同研究、チームサイエンスの方向に向かいつつあるように思える。

また、個人的な話で恐縮であるが、最近、わたしも電子情報通信学会の知り合いに誘われて、図書館情報学の立場から見解を述べるということをしているし、本会会員の意見のなかにも、本当の専門は教育工学だという人がいる。図書館情報学分野とはいいいながら、隣接分野、他の学問領域と協働する素晴らしい研究成果も期待する。

結論的に言えば、学会賞等の対象は、うえに述べたような共同研究の成果をも対象にすべきものように思う。そのとき、必ずしも筆頭著者、末尾に名を載せる指導監督者に大きく業績が帰せられるとは限らない。いわゆる著者リストの中ほどにあげられる‘中間著者’の寄与度にも十分配慮されるべきであるし、‘ギフトオーサー’を尊重する必要もない。オーサーシップについては図書館情報学の固有の研究テーマでもあり、本学会として、表彰のときにはそれなりの見識を示すべきだと、わたしは思う。

## 3. 繰越金の一部を周年事業など特定の事業活動のための特別会計に

これは逸村先生が強く主張される場所であるし、理事会の一部でもすでに声があがっている。1年間の会費収入が550万円くらいなのに、その年会費収入をはるかに超えるオカネが繰越金となり、すでに2024年度への繰越金は1,000万円の大台に達している。75周年事業が理事会でも取り沙汰されており、それにふさわしい事業を計画しようとするのであれば、具体的な計画構想を詰めるべき段階にきており、そのときには所要の見込まれるオカネに色を付け、特別会計を組むことが望ましいと、逸村先生も言われるし、わたしもそう思う。会計技術的にも、見栄えのする美しい会計とするためには、その方が理に適っている。

いまひとつ、議論されていることがある。会費を8,000円と文科系のこの手の学会としては高額の年会費に増額したとたんにCovid-19で支出が大幅に減少、使い切れなかった残額が繰越金に編入されたとの経緯がある。今後のこの国の大学業界の見通しは明るくなく、図書館情報学分野の研究者・専門職業人が増えるとも思いにくい。その収入低下を見込んで繰越金の金額はまだ大きい。1000円程度の年会費の減額はそう難しくなく行えそうな現況にある。会費を下げることもオプションのひとつであろう。

## 4. 取引企業に対する警戒感をもて

2023年度の学会誌売上げに関連して、監査の日に議論になったことがある。それは、学会誌の販売委託先に紀伊国屋をお願いしているのであるが、同社の事務処理上のミスで、12月6日注文分ほか304,500

円の入金漏れがあった。リアルマネー（キャッシュ）の動きを中心に帳簿を作成している本学会の会計決算上は「未入金」としている。この145冊分相当、30万円あまりの現金は2024年度決算に記載されることになる。また、学会誌の印刷・発行に関しても、取引企業の作業にミスがあり、取引企業の負担で誤っていた部分を修正・印刷し、再発行・再頒布した。

ともにこれまでの当学会の事務においては考えにくいことが発生したのである。名の知れた企業、これまで信頼に足る企業でも、ミスをする。この傾向は、この日本社会には広がりつつあり、学会員の信頼・安心を背景に会務を実施している本学会としては、普段に警戒感を怠らないことが求められている。

以上

## 2024年度日本図書館情報学会春季研究集会の交通手段について

研究委員会

2024年5月発行の会報にて、2024年度春季研究集会の開催をご案内しました。その際、会場校である京都橘大学のご厚意により手配いただいた臨時便バスについてご連絡しました。

当初、「京都駅」「山科駅」より往路、復路ともに各3便の臨時便を予定していましたが、バス会社の都合により、次のとおりそれぞれ2便となりました。参加をご予定のみなさまにおかれましては、今一度ご確認ください。

なお、臨時便は《貸し切り》ではなく、《乗り合い》で、他の一般乗客も乗降いたしますのでご承知おきください。

### 【往路】

「京都駅八条口」発 9時00分、9時10分（所要時間約26分）

「山科駅」発 9時10分、9時20分（所要時間約18分）

### 【復路】

「京都駅八条口」行 17時30分、17時40分

「山科駅」行 17時30分、17時40分

## 第72回研究大会のご案内

研究委員会／第72回研究大会事務局

第72回日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。

### 開催要領

日程： 2024年9月28日（土）、29日（日）

会場： 筑波大学 筑波キャンパス春日エリア 春日講堂，7A棟

事務局： 〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2

筑波大学 図書館情報メディア系 池内淳研究室内

日本図書館情報学会第72回研究大会事務局

E-Mail: jslis2024-office@ml.cc.tsukuba.ac.jp

参加費（予定）： 正会員 4,000 円，学生会員 無料，非会員 6,000 円

懇親会費（予定）： 6,000 円

### 宿泊案内

研究大会事務局では宿舎の斡旋はいたしませんので，ご了承ください。

列車や宿泊場所の手配は，各人をお願いいたします。

### プログラム（予定）

9月28日（土）		9月29日（日）	
12:30-13:00	受付	9:00-9:30	受付
13:00-13:15	開会式	9:30-11:30	口頭発表
13:30-17:00	口頭発表	11:30-13:00	ポスター発表，昼食
17:30-19:30	懇親会	13:05-14:05	会員集会，学会賞等授与式
		14:15-16:55	シンポジウム
		16:55-17:05	閉会式

- ・ 大会 2 日目の昼に「ポスター発表」を実施します。発表申込と当日の参加をお願いいたします。
- ・ 大会 2 日目の午後には「会員集会」を開催いたしますので，ぜひご参加ください。
- ・ 大会 2 日目のシンポジウムについては，「図書館情報学における初期キャリア研究者：課題と支援を考える」（仮題）として開催予定です。シンポジウムは一般公開といたしますので，研究大会参加者以外の方でも無料で参加することができます。

### ■ 発表募集要領

- (1) 応募条件：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合，第一発表者が正会員または学生会員であること）

研究発表の申込は，申込時点で既に正会員・学生会員である者に限ります。申込時点で入会が承認されていない場合は，研究発表を申し込むことはできません。発表を希望する方で，未入会の方は，発表申込締切前に入会申込締切日となる 7 月 20 日（土）までに入会申込を行い，入会の承認通知が届いた後に，発表を申し込んでください。

- (2) 発表形態と発表時間

① 口頭発表：1 件 30 分（発表時間 20 分，質疑応答 10 分）

② ポスター発表：1 セッション 90 分。このうち，発表者は指定された 30 分間，ポスター付近に立ち発表内容を適宜説明する必要があります。

注意：第一発表者として口頭発表 1 回，ポスター発表 1 回申し込むことができます。ただし，同じ内容で口頭発表 1 回，ポスター発表 1 回を行うことはできません。発表形態は，申込時に発表申込申請フォームで「口頭発表希望」「ポスター発表希望」のいずれかにチェックを入れてください。口頭発表とポスター発表を各 1 回申し込む場合は，それぞれに申請してください。

- (3) 発表言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も，発表申込，発表論文作成，発表，発表概要提出まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが，多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み，基本的には日本語での発表が望ましいと考え

ます。

(4) 申込方法：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上、申し込んでください。なお、受理された申込書は ウェブサイトで公開する予定です。

(5) 申込締切：2024年8月7日（水）24時必着

申込直後に申込を受け付けた旨のメールを送付します（受理の連絡は別途、メールにて通知します）。申し込んだにもかかわらずメールが届かない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）まで連絡してください。

(6) 発表論文の提出：発表申込が受理された場合には、A4判で口頭発表は4枚、ポスター発表は2枚の発表論文を作成し、2024年9月7日（土）までに原稿を発表申込申請フォームから送っていただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては、発表申込受理者に連絡します。

(7) 発表のための機材と資料等

① 口頭発表：パソコンによるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用できます。その他の機材をご要望の場合には、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）まで問い合わせてください。当日の資料配布は、原則として認めていません。詳しくは、「研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」をご確認ください。

② ポスター発表：ポスターのサイズはA0縦です。資料配布は自由です。ノートパソコン等によるデモンストレーションが可能です。電源は利用できません。パソコンを置くための台を希望する場合は、申込時に発表申込申請フォームの備考欄に「ポスター発表用PC台希望」と記入してください。

(8) 優秀発表奨励賞

対象は第一発表者として口頭発表を行った若手研究者（目安として研究歴10年以内）とします。授与のための審査を希望する者は、自己申告（発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希望」にチェック）してください。発表内容、発表技法の観点から、優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果、優れた口頭発表を行い、将来の活躍が期待される若手研究者（正会員、学生会員）に授与します。受賞者は、学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表されます。

(9) 交通費等一部補助

以下の要領で発表を行うための費用補助を行います。希望される方は申請してください。

① 対象者：第一発表者として研究発表（口頭、ポスター）を行う学生会員

② 人数：希望者全員

③ 申請基準

自宅または通学する大学の最寄駅のうち研究集会開催校の最寄駅に近い方を起点として、研究集会開催校の最寄駅まで片道300km以上であることを基準とします。

④ 申請方法

発表申込申請フォームの「研究集会参加のための交通費一部補助希望」欄にチェックを入れ、自宅または通学する学校の最寄駅のうち、研究集会開催校の最寄駅に近い方を申告してください。

⑤ 補助額：一律15,000円

⑥ 支給時期と方法

研究集会で研究発表を確認後、1週間以内に事務局から振り込みます。なお、支給した者に振込確認後、受領書の提出を求めます。

## ⑦ 補助に際してのルール

- 1) 申請は単年度あたり 1 人 1 回に限ります。
- 2) 研究発表を取りやめた場合は支給しません。
- 3) 本制度で賄えない残りの交通費等を補うために、他機関から補助を受けることを認めます。

## ■ 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表を申し込んでください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において第一発表者（＝発表論文の第一著者）として口頭発表 1 回、ポスター発表 1 回申し込むことができる。
- (4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 口頭発表の登壇者は、原則として発表論文の第一著者とする。
- (6) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (7) 発表者は発表申込申請フォームから発表論文をアップロードする際、本学会が教育・研究の目的で発表論文を印刷物およびウェブ等の電子メディアで使用することを許諾するものとする。
- (8) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は、発表を取り下げたものとみなす。
- (9) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表スケジュール)の変更は原則として認めない。
- (10) 発表当日の資料配布は、原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は、発表当日の 1 週間前までに研究委員会宛に、資料に配布の理由を添えて申請し、許諾を得る。資料配布が認められた場合は、印刷・配布・残部回収は発表者自身で責任をもって行う。ただしポスター発表においては、資料配布は自由とする。

## ■ 発表者への諸注意

### 口頭発表者

- (1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。
- (2) 会場の備え付けの発表用 PC に発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。
- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けの PC での発表としています。持ち込み PC の利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に＜PC のつなぎかえの希望＞について、必ず明記してください。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込み PC のつなぎかえはできません。

### ポスター発表者

- (1) ポスターは、セッションの始まる 10 分前までに掲示してください。指定した時間までにポスターを貼付できない場合は、発表を辞退したものとみなします。
- (2) 掲示するための用品は事務局が用意したものを使用してください。
- (3) セッション終了後、閉会式までに掲示を撤去してください。
- (4) セッション中、発表者は、指定された時間帯にポスターの前に立ち、参加者に研究内容の説明並びに質問への回答を行ってください。

## 2024 年度 研究助成の決定

2024 年度の研究助成に 3 件の応募があり、研究委員会にて審議いたしました。

審査は、例年の手順・方法を踏襲し、あらかじめ定めた評価基準に従って研究委員が採点した結果を総合して、助成対象を決定しました。評価は、申請者が特定されないよう、氏名等個人が特定される情報を伏せて、申請者名を知りうる立場にある研究委員を外して行いました。評価基準は科学研究費に準拠して、(1) 研究目的の明確さ、(2) 研究の独創性、(3) 遂行可能性、(4) 成果の公表可能性、(5) 申請金額の妥当性、(6) 研究組織の適切性、の 6 点を参考に、5 段階で総合点をつけ、総合点の平均が 3 点以上を助成の最低基準としたうえで、議論の結果、下記の 2 件を助成対象としました。

(研究委員会)

研究代表者：乗松恵子（慶應義塾大学大学院）

研究題目：米国公共図書館によるホームスクール支援

助成額：300,000 円

研究代表者：豊浩子（国際医療福祉大学）

研究題目：旧奄美琉米/日米文化会館における未公開の書誌情報デジタル化による分析研究の高度化

助成額：300,000 円

## 役員会等の記録

### 2024 年度第 1 回常任理事会（開催記録）

日時：2024 年 4 月 20 日（土）13:00～15:00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス会議室

出席者：岸田、三浦、浅石、大場、金井、小山、須賀、呑海

1. 2024 年度第 1 回理事会の議題整理
2. 2023 年度事業報告および決算報告、2024 年度事業計画(案)および予算案の検討
3. その他

### 2024 年度第 1 回理事会（議事抄録）

日時：2024 年 5 月 18 日（土）13:00～15:00

場所：明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー19 階共同実習室 2

出席者：岸田、三浦、金井、小山、浅石、須賀、呑海、大場、青柳、安形輝、安形麻、池内有、池谷、今井、宇陀、大谷、小野、河村、庭井、松林

委任状提出：池内淳、佐藤、中村 列席者：逸村、山本

## I 報告事項

1. 2024 年度の会員・会費状況（金井）

計 694（正会員 592 学生会員 57 団体会員 43 賛助会員 2）

## 2. その他

- ・第1回常任理事会議事録確認

## II 協議事項

### 1. 定例（通信）総会の議案整理

- ・2023 年度事業報告・監査報告および会計報告・監査報告
- ・2024 年度事業計画（案）および予算（案）

それぞれ原案が承認された。

### 2. 学会誌 JST 公開のエンバーゴ期間の廃止

検討 WG で審議し、会員からの意見聴取も行ったが、反対意見はなかった。

## III 懇談事項

### 1. 著作権内規・投稿規定の変更

著作権譲渡契約を廃止する。論文には CC ライセンスを付与する。

### 2. 出版事業について

### 3. 学会賞の対象を共著に広げることについて

### 4. 『図書館情報学事典』のデータの利活用について

## 『日本図書館情報学会誌』のエンバーゴ廃止について

会長・岸田和明

『日本図書館情報学会誌』は、「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)にて、一般提供されておりますが、その「エンバーゴ」を廃止する件を、約1年かけて議論してまいりました。その背景等につきましては、会報196号(2024年2月)をご参照ください。その間、反対意見はなく、最終的に2024年5月18日に開催された学会理事会にて、廃止を決定いたしました。なお、印刷版はこれまでどおり発行され、お手元に届きます。今後は、発行と同時に、インターネット上で即時アクセスが可能となり、読者層が広がります。ぜひとも、積極的に『図書館情報学会誌』への投稿をお願いできれば幸いです。

## 委員会・事務局より

### J-STAGE 上での『日本図書館情報学会誌』の閲覧方法について

発行後1年以内の『日本図書館情報学会誌』に掲載された論文を J-STAGE 上で閲覧するには、J-STAGE のウェブサイトにてサインインする必要があります。サインインあたっては、購読者番号とパスワードの入力が求められます。購読者番号は学会の会員番号(4桁の数字)で、パスワードは入会当初のパスワードになります。会員番号や入会当初のパスワードが不明の場合には、事務局([office@jstlis.jp](mailto:office@jstlis.jp))までお問い合わせください。

(事務局)

## 2024年度の会費納入について

2024年度の会費払込用紙は6月号の学会誌に封入予定です。クレジットカードでの支払についても6月号の学会誌発送と同タイミングで可能となります。今しばらくお待ち下さい。

## 未納会費の納入について

2023年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2022年度までの会費を未納の場合は、2023年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員（学生会員は2年）については、その年度末（3月31日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また、会費を1年滞納（当該年度末を超えて滞納）した場合は、機関誌の配付を一時停止します。

そのほか、学生会員で2024年4月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から8,000円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

### **【振り込み先】**

ゆうちょ銀行 口座番号＝00160-5-0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号＝当座 0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

（事務局）

## 会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム（SOLTI）から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の4月20日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意ください。

（事務局）

## 学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- オラシオ 著『図書館ウォーカー2：旅のついでに図書館へ』日外アソシエーツ，2024
- 小南理恵 著『「読書の自由」の成立史：1950年代アメリカの図書館員と出版者』春風社，2024
- 情報科学技術協会 監修，原田智子 編著『プロの検索テクニック：検索技術者検定準2級・2級公式推奨参考書』第3版，樹村房，2024

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)